

# 公益財団法人京都市芸術文化協会

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 近藤誠一

### 2 所在地

京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町 546-2 京都芸術センター内

### 3 電話番号

075-213-1003

### 4 ホームページアドレス

<http://www.geibunkyo.jp>

### 5 設立年月日

昭和56年9月30日

### 6 基本財産

50,000千円（うち本市出せん金 15,000千円，出せん率 30.0%）

### 7 事業目的

芸術文化に関する調査研究を行い，芸術文化の分野における創造的活動を助成し，市民文化の普及・向上を図るための各種文化事業を実施し，もって京都市における芸術文化の発展に寄与することを目的とし，あわせて国際文化交流の促進に努めるものとする。

### 8 業務内容

- (1) 芸術文化に関する調査研究及び情報の提供
- (2) 各種芸術文化事業の実施及び奨励
- (3) 芸術文化に関する教育及び普及
- (4) 芸術家等の育成及び顕彰
- (5) 芸術文化活動拠点の運営
- (6) 芸術文化に関する国内外との交流
- (7) その他芸術文化の振興を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課(TEL075-366-0033)

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

近藤誠一

#### (2) 副理事長

大津光章

#### (3) 専務理事

中谷香

#### (4) 業務執行理事

建畠哲

#### (5) 理事

石原完二，石原さつき，白井進，菱井喜美子，廣青隴，藤井宏一郎，細尾真生，松尾恵，村山明，尾崎学（文化市民局文化芸術都市推進室長）

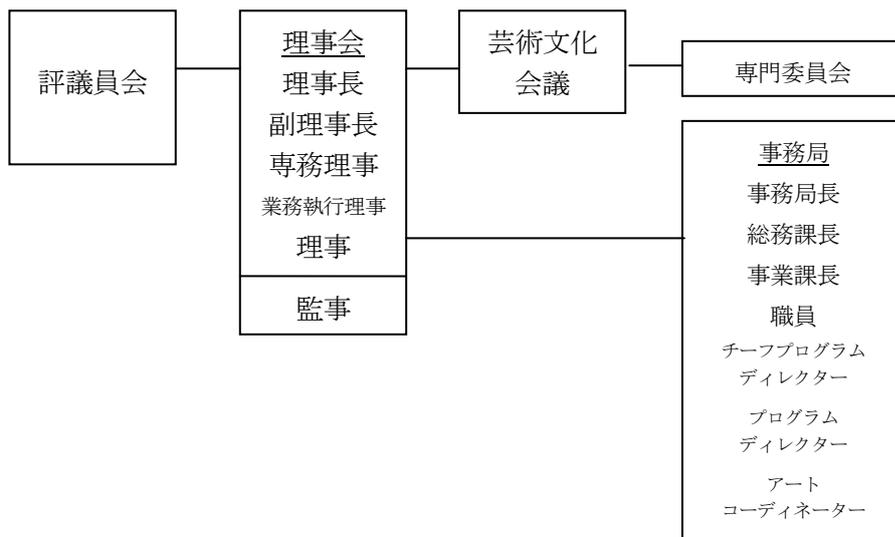
#### (6) 監事

中路健一，金田ひろ野（文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課事業推進担当課長）

### 11 常勤職員数

18人（うち本市派遣職員2人）

## 12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 平成 29 年度決算

#### (1) 事業報告

##### ア 自主事業

- (ア) 芸術文化に関する調査研究及び情報の提供
  - a 機関誌「藝文京」の発行
  - b 協会ホームページの運営
- (イ) 各種芸術文化事業の実施及び奨励
  - a 京都ビッグ・バンド・フェスティバルの開催
  - b 「京の文化絵巻 2017」舞台事業の開催
  - c 各種芸術文化事業の奨励（後援・共催）
- (ウ) 芸術文化に関する教育及び普及
  - a 子ども芸術体験教室の開催及び成果発表  
(夏休み邦楽体験教室, 夏休み邦舞体験教室, 夏休み能楽体験教室, 冬休み芸術体験教室)
  - b 一般芸術体験教室
- (エ) 芸術家等の育成及び顕彰
  - a 芸術家等の育成
    - (a) 京都いけばなプレゼンテーション 2017 の開催
    - (b) 第 4 回藝文京展の開催
  - b 芸術家等の顕彰  
京都市芸術文化協会賞・新人賞
- (オ) 総会・懇親会

##### イ 受託事業

- (ア) 市民狂言会
- (イ) 京都文化芸術プログラム 2020+ 関連事業
  - a ようこそアーティスト文化芸術とくべつ授業
  - b ようこそ和の空間 伝統公演とくべつ授業
  - c アーティスト・イン・レジデンス連携拠点事業  
(アーティスト・イン・レジデンス ラウンドテーブル, 建築 Symposium)
- (ウ) 東アジア文化都市 2017 京都
  - a フェルトシュテルケ・インターナショナル—東アジア文化都市 2017—

- b 京都の文化力事業  
(京都いけばなプレゼンテーション 2017 [再掲], 日本の音入門)
- c 東アジア文化都市 2017 開閉幕式典
- (エ) 助成関係事業
  - a 京都市助成金等内定者資金融資制度 融資窓口業務
  - b 京都市芸術文化特別奨励制度 募集受付業務
  - c 文化芸術顕彰制度 表彰業務 (文化功労者, 芸術新人賞, 芸術振興賞)
- (オ) その他
  - a 京都市新規採用職員研修
  - b 伝統芸能文化創生プロジェクト 能楽公演
  - c 札幌コミュニティダンス WS 発表公演
  - d 京都市自治記念式典オープニングセレモニー
  - e 狂言を取り入れた消費者啓発事業
  - f 文化芸術で輝く社会づくりモデル事業「こどもプロジェクト」
- ウ 芸術文化活動拠点施設運営事業 (京都芸術センター管理運営事業)
  - 【活動センター機能】
  - (ア) 伝統的芸術の継承・創造事業
    - a 明倫茶会
    - b 伝統芸能文化創生プロジェクト
      - (a) ネットワーク構築に向けたヒアリングとアーカイブ調査
      - (b) 保存修復に関するリサーチ (先覚に聴く)
      - (c) 古典芸能に新たな光をあてたシンポジウム (落語 The シンポジウム)
      - (d) 古典芸能の創生のための総合イベント (三味線三昧)
      - (e) 市民向け講座 (講座シリーズ)
      - (f) 受託事業 (再掲)
        - (伝統芸能文化創生プロジェクト 能楽公演, 狂言を取り入れた消費者啓発事業)
  - (イ) 芸術家・芸術関係者育成事業
    - a 京都国際ダンスワークショップフェスティバル 2017
    - b トラディショナル・シアター・トレーニング
    - c アートマネジメント研修プログラム 2017～アートプロジェクト編～
    - d KAC Performing Arts Program 2017  
(ダンス, 音楽, 継ぐこと・伝えること, 演劇)
    - e 京都国際舞台芸術祭 2017
    - f 展覧会「The Point in Front Is Not the Point in Front Is Not」
    - g 展覧会「生業・ふるまい・チューニング 小出麻代ー越野潤」
  - (ウ) 先駆的・実験的事業
    - a 東アジア文化都市 2017 京都 アジア回廊現代美術展
    - b 受託事業 (再掲)
      - (フェルトシュテルケ・インターナショナルー東アジア文化都市 2017ー, 建築 Symposion)
    - c ニュイ・ブランシュ KYOTO 2017
  - (エ) 制作・発表支援事業
    - a 制作支援事業 (制作室使用者募集)
    - b KAC Trial Project/Co-program 2017
  - 【情報センター機能】
  - (オ) 芸術文化情報の収集・発信事業
    - a 図書室の運営
    - b 情報コーナーの運営

- c 通信紙「京都芸術センター通信」の発行
- d 京都芸術センターホームページの運営
- e 京都文化芸術オフィシャルサイト<Kyoto Art Box>の運営
- (カ) 教育普及事業
  - a インターンシップ・プログラム
- (キ) その他
  - a 視察・見学の受入
- 【交流センター機能】
- (ク) 国際交流事業
  - a アーティスト・イン・レジデンス
  - b Kyoto A. I. R. Alliance Program
  - c アーティスト・イン・レジデンス連携拠点事業（再掲）  
（アーティスト・イン・レジデンス ラウンドテーブル, 建築 Symposium）
  - d デンマーク交流展「LEAN ISSUES」展
- (ケ) 市民及び芸術家相互の交流事業
  - a みみききプログラム  
（明倫レコード倶楽部, 素謡の会, Kyo×Kyo Today を再構成したシリーズ）
  - b 明倫ワークショップ
  - c 明倫アワー
- (コ) 地域・学術・産業との連携事業
  - a ボランティア・スタッフ
  - b 地域との連携事業  
（ペトロフ・ピアノコンサート, 明倫フェスタ, 祇園祭・山鉾金工品調査報告講演会）
- (サ) ネットワーキング
  - a 京都文化芸術コア・ネットワークの運営
  - b パートナーシップ/ネットワーク

## (2) 財務諸表

貸借対照表  
平成30年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	40,860	37,840	3,021
未収会費	190	100	90
未収金	16,778	30,660	△13,882
前払金	31	33	△2
貸付金	28,805	17,067	11,738
流動資産合計	[86,664]	[85,699]	[965]
2. 固定資産			
(基本財産)			
定期預金	50,000	46,860	3,140
公社債	0	3,140	△3,140
基本財産合計	(50,000)	(50,000)	(0)
(特定資産)			
管理運営費積立資産	23,488	23,488	0
情報発信強化事業積立資産	1,246	2,546	△1,300
芸術文化特別事業積立資産	2,818	2,818	0
退職給付引当資産	12,801	12,000	801
特定資産合計	(40,353)	(40,852)	(△499)
(その他固定資産)			
什器備品	326	0	326
その他固定資産合計	(326)	(0)	(326)
固定資産合計	[90,679]	[90,852]	[△173]
資産合計	177,343	176,551	792
II. 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	40,000	17,067	22,933
未払金	20,121	47,962	△27,842
前受金	1,987	2,235	△248
前受会費	30	45	△15
預り金	3,517	2,209	1,307
賞与引当金	5,159	0	5,159
流動負債合計	[70,813]	[69,519]	[1,294]
2. 固定負債			
退職給付引当金	12,801	12,000	801
固定負債合計	[12,801]	[12,000]	[801]
負債合計	83,614	81,519	2,095
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
京都市出資金	15,000	15,000	0
寄付金	33,803	33,803	0
指定正味財産合計	[48,803]	[48,803]	[0]
(うち基本財産への充当額)	(48,803)	(48,803)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[44,926]	[46,229]	[△1,303]
(うち基本財産への充当額)	(1,197)	(1,197)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(27,552)	(28,852)	(△1,300)
正味財産合計	93,729	95,032	△1,303
負債及び正味財産合計	177,343	176,551	792

正味財産増減計算書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	9	93	△84
特定資産運用益	5	25	△20
受取入金収益	30	220	△190
受取会費収益	2,720	2,930	△210
事業収益	224,306	237,858	△13,552
受取補助金等	21,675	21,675	0
受取負担金等	10,000	0	10,000
受取寄付金	160	160	0
雑収益	816	968	△152
経常収益計	259,720	263,928	△4,208
(2) 経常費用			
事業費	249,600	260,846	△11,247
管理費	11,424	13,847	△2,423
経常費用計	261,023	274,693	△13,669
当期経常増減額	△1,303	△10,765	9,461
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△1,303	△10,765	9,461
一般正味財産期首残高	46,229	56,994	△10,765
一般正味財産期末残高	44,926	46,229	△1,303
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	48,803	48,803	0
指定正味財産期末残高	48,803	48,803	0
III. 正味財産期末残高	93,729	95,032	△1,303

## 2 平成 30 年度事業計画

### (1) 事業計画の概要

#### ア 自主事業

- (ア) 芸術文化に関する調査研究及び情報の提供
  - a 機関誌「藝文京」の発行
  - b 協会ホームページの運営
- (イ) 各種芸術文化事業の実施及び奨励
  - a 京都ビッグ・バンド・フェスティバルの開催
  - b 「京の文化絵巻 2018」舞台事業の開催
  - c 各種芸術文化事業の奨励（後援・共催）
- (ウ) 芸術文化に関する教育及び普及
  - a 子ども芸術体験教室の開催及び成果発表  
（夏休み邦楽体験教室，夏休み邦舞体験教室，夏休み能楽体験教室，冬休み芸術体験教室）
  - b 一般芸術体験教室
- (エ) 芸術家等の育成及び顕彰
  - a 芸術家等の育成
    - (a) 京都いけばなプレゼンテーション 2018 の開催
    - (b) 藝文京展の開催
  - b 芸術家等の顕彰  
京都市芸術文化協会賞・新人賞
- (オ) その他の会員関連活動
  - a 総会・懇親会
  - b 会員の増加に向けた取組（リーフレットの作成）

#### イ 受託事業

- (ア) 市民狂言会
- (イ) 子どもたちが文化芸術に触れる機会の創出（京都文化芸術プログラム 2020+ 関連事業）
  - a ようこそアーティスト 文化芸術とくべつ授業
  - b ようこそ和の空間 伝統公演とくべつ授業
- (ウ) 京都文化カプロジェクト 2016-2020 事業
- (エ) 助成関係事業
  - a 京都市助成金等内定者資金融資制度 融資窓口業務
  - b 京都市芸術文化特別奨励制度 募集受付業務
  - c 文化芸術顕彰制度 表彰業務（文化功労者，芸術新人賞，芸術振興賞）
- (オ) その他
  - a 京都市新規採用職員研修
  - b 教文伝統芸能シリーズ「能楽なう」
- ウ 芸術文化活動拠点施設運営事業（京都芸術センター管理運営事業）

#### 【活動センター機能】

- (ア) 伝統的芸術の継承・創造事業
  - a 明倫茶会
  - b 伝統芸能文化創生プロジェクト
    - (a) 伝統芸能文化に係る相談・対応
    - (b) 関係機関のネットワーク構築
    - (c) 伝統芸能文化復活・活性化公募プログラム（仮称）
    - (d) 講座シリーズ
    - (e) シンポジウム&総合イベント
    - (f) 先覚に聴く

- (イ) 芸術家・芸術関係者育成事業
  - a 京都国際ダンスワークショップフェスティバル 2018
  - b トラディショナル・シアター・トレーニング 2018
  - c アートマネジメント人材養成プログラム
  - d KAC Performing Arts Program 2018 (ダンス, 音楽, 継ぐこと・伝えること, 演劇)
  - e 京都国際舞台芸術祭 2018
  - f 関西の若手グループ展
  - g 中堅ベテラン企画展「Focus 2018」
  - h キュレーター・リサーチプロジェクト (仮)
- (ウ) 先駆的・実験的事業
  - a ニュイ・ブランシュ KYOTO 2018
- (エ) 制作・発表支援事業
  - a 制作支援事業 (制作室使用者募集)
  - b Co-program 2018
  - c U35 創造支援事業「KIPPU」
- 【情報センター機能】
- (オ) 芸術文化情報の収集・発信事業
  - a 図書室の運営
  - b 情報コーナーの運営
  - c 通信紙「京都芸術センター通信」の発行
  - d 京都芸術センターホームページの運営
  - e 京都文化芸術オフィシャルサイト<Kyoto Art Box>の運営
- (カ) 教育普及事業
  - a インターンシップ・プログラム
- 【交流センター機能】
- (キ) 国際交流事業
  - a アーティスト・イン・レジデンス
  - b アーティスト・イン・レジデンス Res Artis ミーティング 2019 in Kyoto (仮)
  - c AIR Alliance Platform
  - d その他
    - (a) 第 25 回国際博物館会議京都大会
    - (b) Visual Arts Focus 2019 (仮)
    - (c) ポーランド・ウィーク 2019 (仮)
- (ク) 市民及び芸術家相互の交流事業
  - a みみききプログラム
    - (素謡の会, 明倫レコード倶楽部, Kyo×Kyo Today を再構成したシリーズ)
  - b 明倫ワークショップ
  - c 明倫アワー
- (ケ) 地域・学術・産業との連携事業
  - a ボランティア・スタッフ
  - b 地域との連携事業
    - (ペトロフ・ピアノコンサート, 明倫フェスタ, 祇園祭山鉾木工品調査・展示 [仮])
- (コ) ネットワーキング
  - a 京都文化芸術コア・ネットワークの運営
  - b パートナーシップ/ネットワーク

## (2) 予算

## 正味財産増減予算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	20	100	△80
特定資産運用益	2	70	△68
受取入会金	400	400	0
受取会費	3,025	3,055	△30
事業収益	227,355	222,758	4,597
受取補助金等	21,675	21,675	0
受取負担金	21,000	10,000	11,000
受取寄付金	200	350	△150
雑収益	800	800	0
経常収益計	274,477	259,208	15,269
(2) 経常費用			
事業費	264,551	247,346	17,205
管理費	11,172	13,162	△1,990
経常費用計	275,723	260,508	15,215
当期経常増減額	△1,246	△1,300	54
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△1,246	△1,300	54
一般正味財産期首残高	44,929	46,229	△1,300
一般正味財産期末残高	43,683	44,929	△1,246
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	48,803	48,803	0
指定正味財産期末残高	48,803	48,803	0
III. 正味財産期末残高	92,486	93,732	△1,246

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H27 (決算)	H28 (決算)	H29 (決算)	H30 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	239,622	263,928	259,720	274,477
	当期経常増減額	675	△10,765	△1,303	△1,246
	当期正味財産増減額	675	△10,765	△1,303	△1,246
貸借対照表	総資産	182,504	176,551	177,343	
	総負債	76,707	81,519	83,614	
	正味財産	105,797	95,032	93,729	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H27 (決算)	H28 (決算)	H29 (決算)	H30 (予算)
委託料	京都芸術センター運営 (指定管理)	133,403	130,803	130,803	130,803
	市民狂言会	3,586	3,985	3,925	
	京都市芸術文化特別奨励制度	1,043	1,043	1,043	
	京都市文化芸術顕彰制度	1,137	1,342	1,342	
	京都市助成金等内定者資金融資制度	379	379	379	
	ようこそアーティスト文化芸術とくべつ授業	4,200	4,200	4,200	
	京都市新規採用職員研修	478	497	501	
	アーティスト・イン・レジデンスに係る国内全体のセンター機能の整備	2,000			
	アーティスト・イン・レジデンス連携拠点事業		2,000	12,000	
	学校教育をはじめ、あらゆる機会を通じた伝統的な文化芸術に触れる取組 (ようこそ和の空間伝統公演とくべつ授業)	4,800	11,500	11,500	
	プロフェッショナルに聞く!～文化庁移転と文化芸術の未来～		1,000		
	狂言を取り入れた消費者啓発イベント			1,800	
補助金	京都市芸術文化協会事業補助金	24,776	24,824	24,824	24,824
貸付金	京都市助成金等内定者資金融資制度に係る貸付金	40,000	40,000	40,000	40,000
その他	五感で感じる和の文化事業に係る負担金 (伝統芸能文化創生プロジェクト)	10,000		10,000	16,000

		H27 (決算)	H28 (決算)	H29 (決算)	H30 (予算)
その他	レザルティス 2019 京都会議に係る負担金				5,000

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 29 年度は、平成 28 年度と比較して経常収益が減少したが、経常費用を抑えることができたため、赤字を縮小することができた。また、この赤字は、情報発信事業を強化する (HP のシステム改修等) 経費の補填のために特定資産を取り崩したものであり、予算段階から予定していた計画的な投資であるといえるため、予算執行管理に問題は無い。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施回数については、目標値を下回っているが、平成 28 年度の実績を上回り、目標値に近づいているため、一定評価することができる。</li> <li>事業参加者数については、平成 28 年度及び目標値を上回っており、評価することができる。</li> </ul>

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 28 年度は、財団設立 35 周年記念事業実施による計画的な費用支出により大幅赤字となった。</li> <li>平成 29 年度は前年度の様な特殊事情はなく、事業収益及び委託費が共に減少したが新たに賞与引当金を計上開始したことにより黒字回復には至らなかった。</li> <li>今後は、自主事業収入や寄付金等、本市以外からの財源確保に取り組み、財務基盤を安定化させていく必要がある。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化芸術関連の事業に取り組み、事業参加者数を伸ばしていること、また、積極的に若手芸術家育成に取り組んでいる点は評価できる。</li> <li>今後も文化芸術の振興に貢献するためには、職員の育成を進めるなど、安定した組織体制の確立に取り組む必要がある。</li> </ul>